

令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練

(DMAT 訓練) の参加について

9 月 28 日 (土)、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県を被災地とする首都直下地震を想定し、DMAT 活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図るため、大規模地震時医療活動訓練が実施された。

卸連合会合会事務局及び被災地と想定された上記 4 都県卸組合・協会に対して、DMAT 事務局や行政機関などより、各都県と都県卸組合・協会または会員構成員会社との間での伝達訓練や、医薬品の空箱を用いた実動配送訓練などの参加要請があった。

訓練に参加した都県卸組合・協会から、当日の訓練概要について以下のとおり報告があった。また、卸連合会事務局の訓練についても以下のとおりであった。

◆東京都

下記内容にて伝達訓練を実施。

- ・東京都 DMAT 調整本部から災害対策本部の医薬品調整チーム (医療救護チーム内) に下記要請があり、調整チームより東京都医薬品卸業協会に依頼。
- ・医薬品卸業協会より会員医薬品卸業者に在庫状況を確認。その後医薬品卸業協会より対策本部へ配送可能状況を連絡し、終了。(卸連合会事務局に 10:40 に連絡。)

(要請内容)

- ・「東京大学医学部附属病院へ『生食 500ml*500 本とリンゲル液 500ml*500 本』の配送依頼」⇒在庫確認し、対応。(17:00 までにアルフレッサより対応予定。)

◆埼玉県

下記内容にて伝達訓練を実施。

- ・埼玉県 DMAT 調整本部より、埼玉県薬務課に下記要請があり、薬務課から埼玉県医薬品卸業協会へ供給依頼。
- ・医薬品卸業協会から会員医薬品卸業者へ配送依頼。
- ・在庫確認の上、医薬品卸業者から要請のあった 6 施設へ医薬品を供給。

(埼玉 DMAT 調整本部より)

震災により各医薬品卸の所沢市の支店/事業所に多少被害が生じたものの、全体の医薬品配送からみると数%程度の影響であった。

(要請内容)

- ・「国立埼玉病院へ『生理食塩液 500ml × 20本 10ケース』他、3品目の配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(スズケン新座支店にて対応。13:45 着予定。)
- ・「高田整形外科病院(新座)へ『エフェドリン 1g × 10本』他、3品目の配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(アルフレッサ新座支店にて対応。14:00 着予定。)
- ・「朝霞厚生病院へ『ラクテック 500mg 20袋 1ケース』配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(メディセオ新座支店にて対応。14:10 着予定。)
- ・「さいたま北部医療センターへ『生理食塩液 500ml × 20本 20ケース』他、4品目配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(アルフレッサ大宮事業所にて対応。15:20 着予定。)
- ・「さいたま北部医療センターへ『破傷風トキソイド 20本』他、3品目配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(東邦大宮支店にて対応。15:20 着予定。)
- ・「朝霞病院へ『ドネペジル 10mg 100錠 × 7瓶他』、3品目配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(メディセオ新座支店にて対応。15:30 着予定。)
- ・「塩味病院(朝霞)へ『ラクテック注 500ml × 20袋 1ケース』配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(スズケン新座支店にて対応。15:30 着予定。)

* いずれの施設も 15:30 までに配送完了。(全施設配送完了後、卸連合会事務局へ連絡。)

◆千葉県

下記内容にて伝達訓練を実施。

- ・千葉県 DMAT 調整本部から千葉県薬務課に下記要請があり、薬務課より千葉県医薬品卸協同組合に依頼。
- ・医薬品卸協同組合より会員医薬品卸業者に依頼。同組合より薬務課へ納入可能状況及び、配送完了想定時刻を連絡し、終了。
(卸連合会事務局に 12:15 に連絡。)

(要請内容)

- ・「千葉県済生会習志野病院へ『アドナ注 25mg 100本』他 3品目の配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(メディセオ船橋支店にて、15:00 頃に配送可能。)
- ・「国立病院機構千葉医療センター病院へ『ポピドン 10% 250mL 50本』他、3品目の配送依頼」
⇒在庫確認し、対応。(メディセオ千葉支店にて、13:30 頃に配送可能。)

- ・「千葉県総合災害救急医療センター病院へ『献血グロベニン-I 静注用 5g/100ml 20 本』配送依頼」⇒在庫確認し、対応。(メディセオ千葉西支店にて 15:00 頃に配送可能。)

◆神奈川県

車両を用いた医薬品の実動配送訓練及び、在庫確認訓練を実施。

- ・神奈川県 DMAT 調整本部から神奈川県薬務課へ下記要請があり、薬務課より神奈川県医薬品卸業協会に依頼。医薬品卸業協会より会員医薬品卸業者へ配送依頼を実施。
 - ・医薬品卸業協会より薬務課へ下記 3 病院への納入可能状況の連絡及び、配送完了報告を実施し終了。(卸連合会事務局へ各病院への配送開始時及び、配送完了時に連絡。)
- * DMAT 本部及び、県本部から都度必要薬剤の在庫確認訓練あり。

(要請内容)

- ・「済生会横浜市東部病院へ『フィブリノゲン HT(1g)30 本』他、4 品目の配送依頼」
⇒在庫確認し対応。(9:25 出発時及び、10:10 配送完了時に卸連合会事務局へ連絡。)
- ・「昭和大学横浜市北部病院へ『ラクテック注 1000mL 100 袋』他、31 品目の配送依頼」
⇒在庫確認し対応。(9:35 出発時及び、9:55 配送完了時に卸連合会事務局へ連絡。)
- ・「昭和大学藤が丘病院へ『テルモ生食 TP-A05NS 500mL 20 袋』他、6 品目の配送依頼」
⇒在庫確認し対応。(13:40 出発時及び、14:20 配送完了時に卸連合会事務局へ連絡。)

◆卸連合会事務局

卸連合会事務局は、各都県卸組合・協会の被害状況や実動把握と関係機関との連絡調整を行った。

- ・電話、メールにより、各都県卸組合・協会への医薬品配送要請などを確認。
- ・その後各都県卸組合・協会より配送完了(≒訓練終了)確認。
- ・各都県の訓練終了確認後、卸連合会事務局から DMAT 事務局へ各都県卸組合・協会の訓練状況報告。

令和6年度大規模地震時医療活動訓練 全体概要（案）

資料1

令和6年3月21日
内閣府（防災担当）

1 目的

首都直下地震を想定し、「首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画」（平成28年3月29日中央防災会議幹事会決定、令和5年5月23日最終改正）に基づき、国、地方公共団体等が連携して、大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施し、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

2 実施日

令和6年9月28日（土）（P）

※発災は前日11時予定

3 実施場所

想定被災地：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

被災地外：調整中

4 参加機関（予定）

内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省（DMAT事務局含む）、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、中日本高速道路株式会社、東日本高速道路株式会社、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県（ほか）

5 主な訓練項目及び実施主体

- ・地域医療活動訓練（本部運営、地域医療搬送、参集拠点設置、SCU運営等）（都道府県（支援：DMAT事務局））
- ・DMATの参集、活動訓練（DMAT事務局、都道府県）
- ・広域医療搬送訓練（内閣府、厚生労働省・DMAT事務局、防衛省、都道府県（ほか））

【参考】令和5年度総合防災訓練大綱（令和5年5月30日中央防災会議決定）

別紙1 防災訓練中期計画

首都直下地震、南海トラフ地震又は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定して、関係地方公共団体等と連携し、災害派遣医療チーム（DMAT）の参集、活動、広域医療搬送等の訓練を、令和6年度は関東ブロック、令和7年度は北海道及び東北ブロックを被災地と想定した訓練を実施する。